

現研
パワーアップ
研究セミナー
27

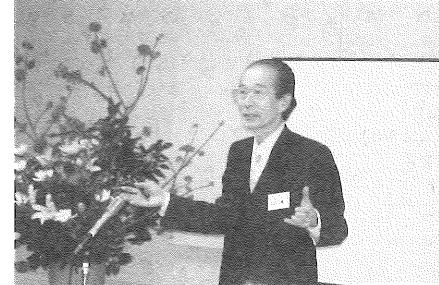
迷いを捨てて 人づくり再建戦略へ突入

—2002年人事・教育10年の計、1年の第一

■講師 (株)現代経営技術研究所
所長 鈴木 成裕

■日時 2001年10月24日(水) 13:15~16:15

■会場 東京国際フォーラム G405 ※裏面地図をご参照ください。



セッションⅠ 人づくりの足場をつくろう 13:15~13:40

1. 2002年組織風土の全面改革は是か非か
 2. 業務遂行意欲は本当に劣化したか
 3. ネクストロイヤリティと経営陣
 4. 目標達成する人の価値観
 5. 戦略と実践の間の見えない断層
 6. 長期人事路線の確実な構築・定着策
- <10分間質疑>

セッションⅡ 政策検討の焦点はここ 13:50~14:25

1. 合併・吸収・連合・提携—異文化の組織実態
2. 業績浮揚の目標管理、業績低下の目標管理
3. 需要の消失・実現とダイナミック行動
4. 希望を与えられぬ組織へ転落、その逆
5. 希望退職制という希望
6. 競争力強化の手段としての教育
7. 経営・人事の最深度の探索と理念再構築

講師の言葉

現在の競争に勝つことはどの社にとっても今後の発展の条件であり、将来の明確な構想を確立することは、どの社にとっても、今、競争に勝つときの方法選択に不可欠な要件です。

限られた資源のもとでは、この考え方即した行動が取れるかどうかが、社の持続的競争力の強化の鍵になります。だが、今は恐怖の渦中 있습니다。<将来への不安><相互の不信><個力の限界意識>などが劣化させてしまった日本の経済の進行に伴って深まっています。これは組織に責任をもつ人にとって悪条件です。

この悪条件の中で発展するには、自己、自社に即して徹底的に思考し、多様な情報の中に策を探し、自己確信の持てる道筋と突破すべき障壁打破の方法を立案しなければなりません。

そして、それらのすべてに、またそれに基づく行動に、<参画し、行動できる、力のあるよき人>の育成を計らなければなりません。また日本の経営化、グローバル経営化という図式的な理解を超えて、世界的なトレンドの把握や日本の組織の深層にある考え方の文化を突き詰めなければなりません。

状況に呑まれた<その場主義>、臆病な<先送り主義>は破産したという認識から、これらの活動の解にむかってこのセミナーを始め、参加される方々と討論したいと思います。

討議：2002年激動の中の戦略推進 14:25~15:00

上記講義に対する異論と質疑

人づくり戦略推進の障害の打破

<コーヒーブレイク 20分>

セッションⅢ 教育を新経営行動の突破口に 15:20~16:15

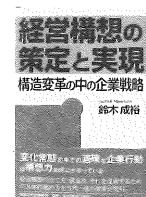
1. 構造改革と人づくりは車の両輪
2. 企画力育成研修、構想力強化研修の進め方
3. 戦略スタッフ育成研修、戦略推進力強化研修の進め方
4. 戦略幹部育成プログラム、マネジメントプロフェッショナル育成研修の進め方
5. 2002年の展開の注意

※ 参加者から提起された問題については、時間が限られているため、後日フォローアップ会合を持つ場合があります。

◆講師紹介◆

鈴木 成裕(すずきしげひろ)

(株)現代経営技術研究所所長。経営政策、システム開発、教育指導を中心に企業・団体の経営コンサルティングに携わる。戦略問題の第一人者として知られる。著書として『システムの時代』(ダイヤモンド社)『経営転換の構想』(同文館出版)『戦略教育』(マネジメント社)『企業意思のリデザイン』(講談社)『経営構想の策定と実現』(産能大学出版部)他、多数。



鈴木成裕著『経営構想の策定と実現』
(産能大学出版部刊)



鈴木成裕著『企業意思のリデザイン』
(講談社刊)

現研30周年